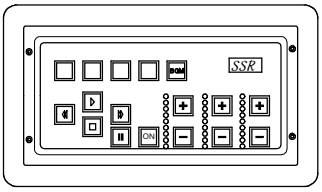
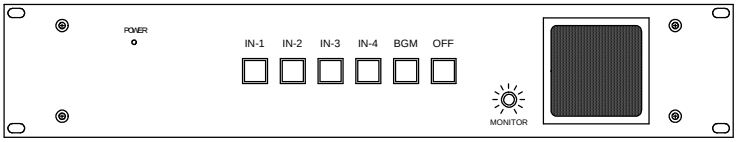
取扱説明書

プールリモートシステム

PRC-05MK2C
PRC-05MK2T





このたびは、プールリモートシステムをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

正しくご利用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、
末永くご利用いただけますようお願い申し上げます。

SSR株式会社

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号		行為を強制する記号	
分解禁止	禁　止	強　制	電源プラグを抜け

⚠ 警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき

電源プラグを抜け

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁　止

内部に異物を入れない

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

禁　止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

禁　止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁　止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

使用するとき

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

強　制

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁　止

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

概　要

高温多湿などの理由で音響機器が常時設置できない場所でも、
コントローラー部だけを壁面やスタンド等で設置する事により、
自由に音響機器を遠隔操作でき、
マイク・音楽の音量や、ＣＤ・ＭＤのピッチコントロールも個別に調節できます。

最大４つのＣＤデッキ等の音響機器を遠隔操作用に接続でき、
その他、マイクや無操作時用のＢＧＭ音源などが接続できます。

コントローラー部は、水・湿気・塩素等に影響を受けにくい様に設計されています。

主な仕様

＊　最大４つのＣＤ・ＭＤ/ＣＤデッキが接続できます。
　　（ﾀｽｶﾑのCD-01U・MD/CD1mkⅡ　D&MのDN-C635が接続/操作可能・動作確認済み）

＊　コントローラー部にて音響機器の再生・曲送り・曲戻し・一時停止
　　・ピッチコントロールの操作ができます。

＊　マイク（ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸ）音量と音楽の音量は個別に調節できます。

＊　音響ラック部にラックマウントされるターミナル部の付属スピーカーで、
　　各音響機器の頭出し等を音出し確認ができます。
　　（確認中の音はメインの放送設備には出力されません）

＊　有線放送などの音源を接続･入力しておく事により、
　　無操作時(ｺﾝﾄﾛｰﾗｰ部のｾﾚｸﾀｰがBGM時)に、レッスン用の放送設備でＢＧＭを流せます。

施工上の注意

＊　コントローラー部を壁面埋め込む工事は、電工４連埋め込みボックス相当品を
　　使用してください。　（奥行き４５㎜以上）

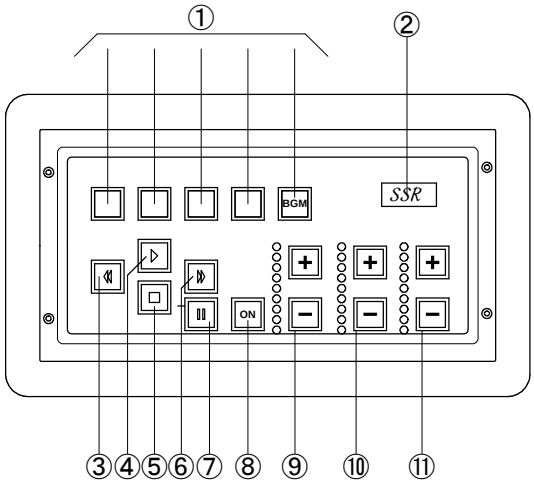
＊　コントローラー部を取り付けの際は、防滴効果を上げる為、
　　十分にシリコンコーキングをしてください。

＊　コントローラー部とターミナル部との接続ケーブルは、
　　４心シールドケーブルを２本使用してください。
　　（推奨ケーブル　･･･　カナレ電気　Ｌ－４Ｅ６ＡＴ　×２）

＊　ターミナル部を設置する際は、必ずラック内に設置・取付を行ってください。
　　本器は、ラックマウント専用機器です。
　　（ＥＩＡ　２Ｕ）

各部の名称と働き

［コントローラー部　前面パネル］



① 制御機器セレクトスイッチ
　操作する音響機器を選びます。
　再生中に他の機器に切り替えた時、再生中の機器は停止状態になります。
　「ＢＧＭ」を選択時は、誤ってラック側で音響機器を操作をしても音は出ません。

② 確認ランプ
　正確に操作ボタンが押されるとランプが点滅します。

③ 曲戻しボタン
　選択している音響機器で曲戻しをします。

④ 再生ボタン
　選択している音響機器で再生をします。

⑤ 停止ボタン
　選択している音響機器で再生中のものを停止します。

⑥ 曲送りボタン
　選択している音響機器で曲戻しをします。

⑦ 一時停止ボタン
　選択している音響機器で再生中のものを一時停止します。

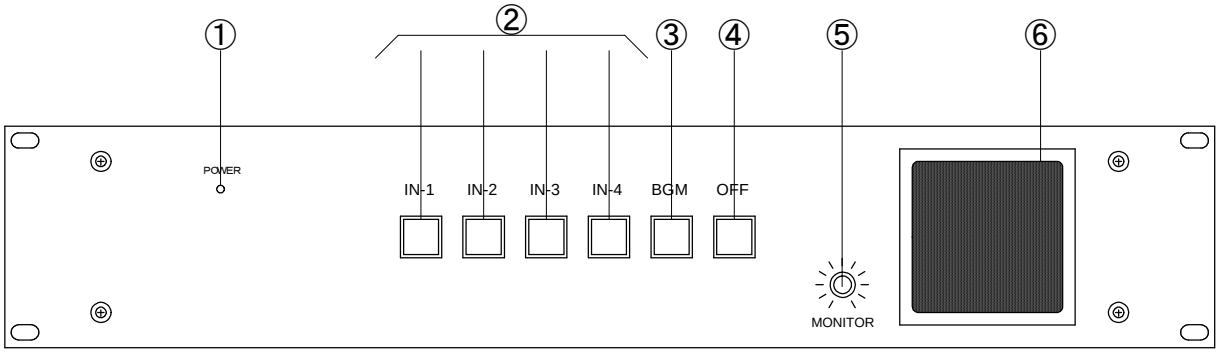
⑧ ピッチコントロールON/OFFスイッチ
　ピッチコントロールのＯＮとＯＦＦを選択します。
　点灯時がＯＮで、消灯時がＯＦＦです。

⑨ ピッチコントロールボリュームボタン
　ピッチボタンがＯＮの時、ピッチを「＋」と「－」ボタンで変化させます。
　左側のＬＥＤメーターで現在の状態がわかります。（無変化時は、中央）

⑩ ミュージックボリュームスイッチ
　選択した音響機器の音量を「＋」と「－」ボタンで調節します。
　　（ＢＧＭは調整できません）
　左側のＬＥＤメーターで現在の状態がわかります。

⑪ マイクボリュームスイッチ
　ワイヤレスマイクの音量を「＋」と「－」ボタンで調節します。
　左側のＬＥＤメーターで現在の状態がわかります。

［ターミナル部　前面パネル］



① 電源ランプ
　電源投入中、ランプが点灯します。

② モニター選択スイッチ（IN-1 ～ IN-4）
　本機のモニタースピーカーより各入力ソースの試聴をする際に、
　入力ソースの１～４を選択します。
　　（この時、コントローラー部でＢＧＭを選択しているか、
　　選択されている音響機器と同一でなければ、
　　音響機器を操作してもメインスピーカーからは音は出ません）

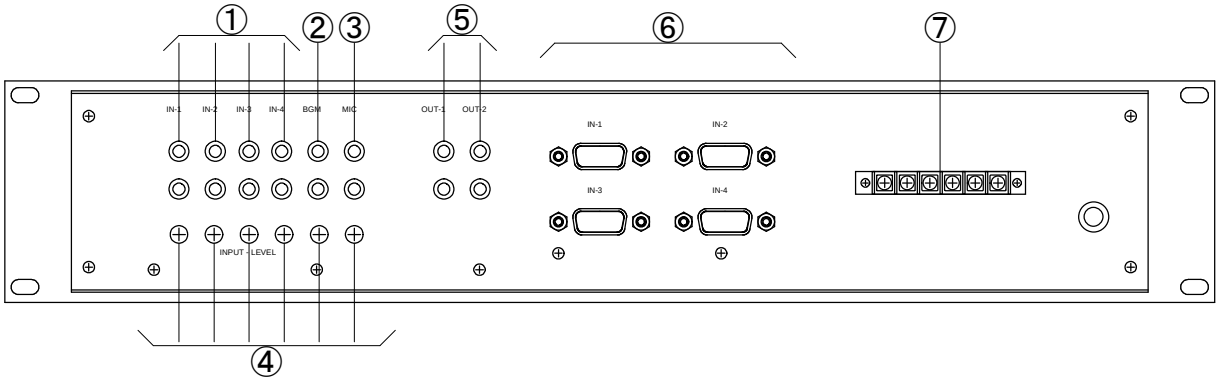
③ モニター選択スイッチ（ＢＧＭ）
　有線放送などのＢＧＭ用に接続されている入力ソースを試聴する際に選択します。

④ モニター選択スイッチ（ＯＦＦ）
　本機のモニタースピーカーをＯＦＦにします。

⑤ モニタースピーカーボリューム
　各入力ソースを試聴する際の、本機モニタースピーカーの音量を調節します。

⑥ モニタースピーカー
　各入力ソースを試聴するためのスピーカー
　　（メインスピーカーから出る音とは別系統です。）

［ターミナル部　後面パネル］



① 音声入力端子（IN-1 ～ IN-4）
　ステレオ音声をＲＣＡ端子で接続します。
　コントローラー部で操作できる音楽ソースを最大４つまで接続できます。

② ＢＧＭ入力端子
　ステレオ音声をＲＣＡ端子で接続します。
　コントローラー部でＢＧＭを選択時の音楽ソースを接続できます。

③ マイク入力端子
　ＲＣＡ端子で接続します。
　２個ＲＣＡが付いていますが、１系統のみで内部でモノラルに合成されます。

④ ゲインコントロール
　入力信号のレベルに合わせて感度を調節します。

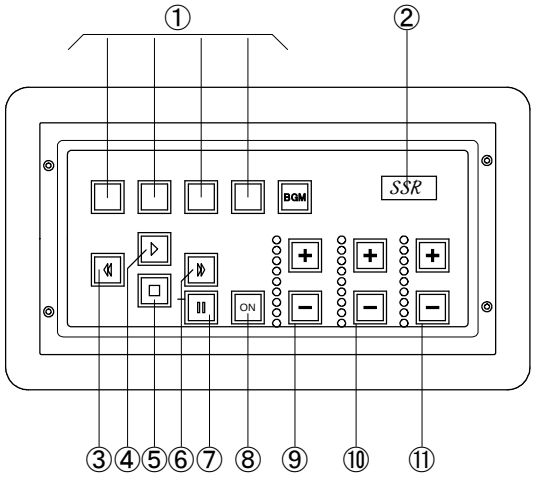
　＊ コントローラー部でＢＧＭを選択中、ＢＧＭのみ音量調節ができませんので、
　ＢＧＭ音量の調節は、先にここでしっかり調整してください。

⑤ ステレオ出力端子（OUT-1・OUT-2）
　コントローラー部にて選択・操作しているものがラインレベルで出力されます。
　ステレオ２系統出力・ＲＣＡ端子接続です。２系統とも同じ物が出力されます。

⑥ 入力機器制御用端子
　IN-1～IN-4に接続するＣＤ/ＭＤプレーヤーをコントローラー部にて操作できるように
　ＣＤ/ＭＤプレーヤーの用のＲＳ232Ｃ端子と弊社製の中継ＢＯＸを介して接続します。

⑦ コントローラー部制御用端子
　コントローラー部と接続します。　６芯で制御と電源の供給を行います。
　（推奨ケーブル　CANARE　L-4E6AT　２本　制御用・電源用）

基本操作



１　音響ラックの電源スイッチをＯＮにし、各機器の電源が入ったのを確認します。

２　音楽ソースを各機器に入れ、認識したのを確認します。

３　電源を投入した直後は「ＢＧＭ」が選択されていますので、
コントローラー部の①（制御機器ｾﾚｸﾄｽｲｯﾁ）で操作したい機器を選びます。

４　③④⑤⑥⑦を使い再生･停止･一時停止･曲送り･曲戻しの操作します。
基本的に、ＣＤプレーヤー等の前面パネルでの操作と同じです。

＊　③⑥を使用した時、曲送り･曲戻しは出来ますが、早送り･巻戻しは出来ません。

５　ＣＤやＭＤの再生ピッチを変えたい時は、⑧でピッチコントロールをＯＮにします。
このボタンが点灯している時に、再生ピッチを変更する事が出来ます。

再生ピッチの変更は、⑨の「＋」と「－」ボタンで行います。
左にあるＬＥＤメーターで、確認しながら調節してください。

＊　±０時にＬＥＤメーターは中央で緑色になります。

６　音楽ソースの音量の変更は、⑩を操作します。
IN-1～IN-4に入力されている物の音量が変化します。
左にあるＬＥＤメーターを確認しながら、調節してください。

＊　⑩を操作しても、ＢＧＭポジションの音量とマイクの音量は、変化しません。

７　マイクの音量の変更は、⑪を操作します。
音量を上げ過ぎると、ハウリング等のノイズを出す可能性がありますので、
左にあるＬＥＤメーターを確認しながら、調節してください。

＊　ＣＤ・ＭＤプレーヤーによっては、内部ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの優先順位等の問題で、
１テンポ遅れて動作する物があります。
正確にボタンを押した時は、②が点滅します。
②を確認しながら、少し余裕を持って操作してください。

仕　様　・　概観寸法図

主な仕様

電源		AC 100V　50/60Hz
消費電力		約 25W
重量		コントローラー部　0.7Kg　　ターミナル部　5.8Kg
寸法	（コントローラー部）	幅 208mm　奥行き 53mm　高さ 120mm
		（電工4個用BOX適合サイズ・奥行き45mm以上必要）
	（ターミナル部）	幅 482mm　奥行き 340mm　高さ 88mm
		（EIA・2Uサイズ）

入力定格

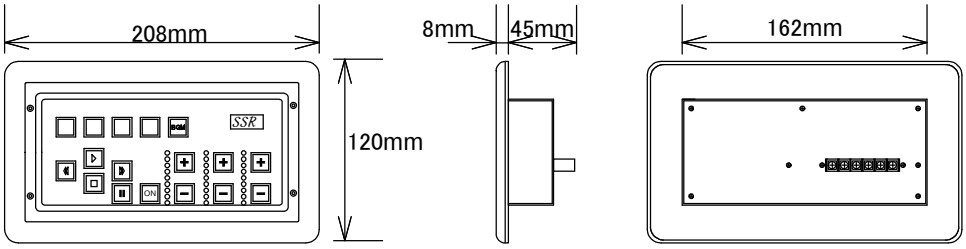
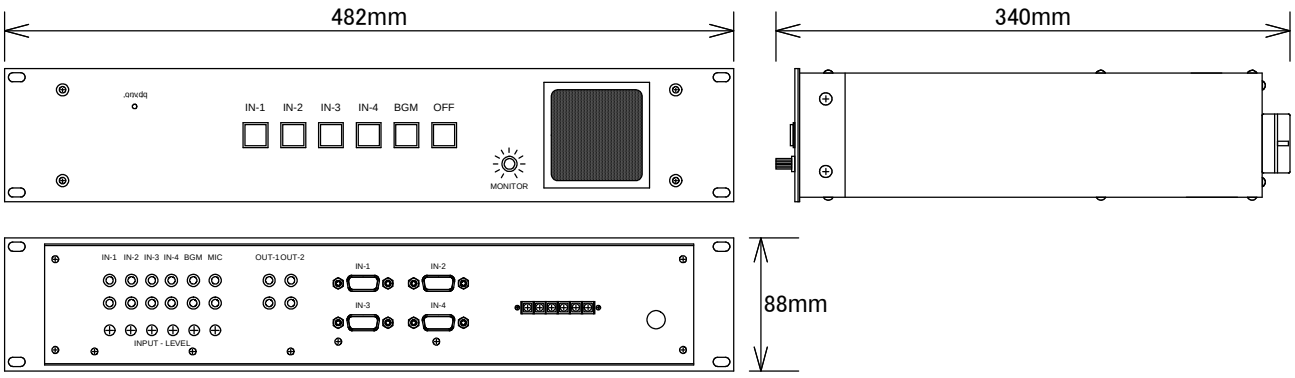
名称	使用コネクター	定格レベル	インピーダンス
MIC　※	RCAピンジャック （不平衡）	∞ ～ −18dB	1KΩ
IN-1～IN-4	RCAピンジャック （不平衡）	∞ ～ −18dB	50KΩ
※　ｺﾈｸﾀｰはL・R2つありますが、内部でモノラルの1系統に合成されます			

出力定格

名称	使用コネクター	定格レベル	インピーダンス
OUT 1~2ch　※	RCAピンジャック （不平衡）	+4dB	600Ω
※　両系統とも、同じ物が出力されます。			

概観寸法図

コントローラー部 （PRC－05MK2C）



ターミナル部 （PRC－05MK2T）